

お菓子屋だより

清水菓子舗の

第151号

2020年2月20日発行

ひなまつりが来ましたよ！

愛情たっぷりで育った女の子は、
ありのままの自分自身を、他人や社会に対して打算も嘘もなく表現できて、
また他人をそのまま受け入れられる素敵な大人に育つそうですね。
人間関係が複雑でややこしくなって歪んでいる現代、
そういう素直な人物に成長できることは、本当に素晴らしい事だと思います。
でも、愛情というものは目には見えません。
そこで、女の子のいるご家庭は、
ひなまつりには、しっかりと目に見える愛情を
たっぷりと注いでいただきたいと思います。
お菓子で愛情を表現できるものではありませんが、
3月3日のひなまつりには、
ぜひ、ひなまつりケーキを囲んで楽しく過ごしてくださいね。 早めのご予約をお待ちしています。



しっかりとお返ししましょうね。

バレンタインデーにチョコレートをたくさんもらった
幸せ者のみなさん。
たっぷりとお返しをしなければいけないという、
年に一度のホワイトデーがやって来ましたぞ。
もらってばかりでお返しをしない人間がどうなるのか？
考えただけでも恐ろしい事になりませんか？
もらい得のつもりでいたら、信用を失くしてしまいます。
バレンタインとホワイトデーは、
お菓子業界がセットで仕掛けた、本当にタチの悪い陰謀です。(ごめんなさい！)
でも、ホワイトデーというイベントを上手に使って、
周囲の人との人間関係をより良いものにしていただくのがお菓子屋の願いです。



手作りさくら餅です。

和菓子を機械で作るのが当たり前になってしまいました。
にぎり寿司も、今や、機械が作る方が多いでしょうね。
テクノロジーが進化しているので、
機械が作るのが悪いとは思っていません。
でも、さくら餅は、手で作らないと、
道明寺の粒々感が失われて、食感がダメになります。

そこで清水は、かたくなに、
今年も手作りを貫いて行きます。



ひなまつりには、和三盆クッキー

ひなまつりになると食べる「ひなあられ」や「ひし餅」。赤、緑、白の三色は、それぞれ桃、草、雪を表していて、春の訪れを表しているそうです。

あれ？ その三色って、和三盆クッキーの色じゃないの？という事に気がついて、

何年か前から、ひなまつりには和三盆クッキーをおススメしています。

そのせいか、遠くに住むお孫さんに送ったり、ひなまつりまで待てない女の子のおやつにしたり、年々ひなまつりが近づくと、和三盆クッキーをお買い求めになる方が増えています。

和三盆クッキーは、口の中でホロホロと溶けるし、卵を使っていないので、小さな女の子や、卵アレルギーのある女の子にも楽しんでいただけます。

ひなまつりにはカラフルな和三盆クッキー。

今年のひなまつりから、試してみませんか？



還暦に近づきました。

先日、清水の三代目店主が誕生日を迎え、57歳になりました。

23歳で神戸での修行を終えて清水菓子舗に入店し、日々奮闘を続けているうちに、はや34年。

未熟で考え方もフニャフニャしていた三代目も、

長年の間、お客さんに育てていただいて、なんとかお店を継続してこれました。

お菓子屋は、変化と流行の激しい職種なので、若い感性とエネルギーが必要です。

だから57歳で老け込んでいては、お客さんに棄てられてしまいます。



そこで、これからも、スタッフに助けてもらいながら、いろんな事に挑戦していこうと思っています。

誕生日には、友だちのケーキ屋さんに頼んで、尊敬する漫画家・手塚治虫先生のキャラクターケーキを毎年作ってもらっています。

今年のキャラクターは「ピノコ」。

いいトシしてこんなカワイイ女の子のケーキを喜ぶのは、ロリコンじゃなくて、感性が若いという事にしておいてくださいね。



ヘルシーカフェ・ほっこり堂

お菓子屋は、甘い物を作るのが仕事なので、甘い物もたくさん食べてしまいます。

そんな食事を調整してくれるのが、ほっこり堂のランチです。

タマネギ、リンゴ酢、赤白みそをブレンドした「長生きみそ汁」。

そして、地元の旬の野菜を積極的に使って小鉢を何品か添えています。

還暦が近くなった三代目店主も、ほっこり堂を利用して、甘い方に傾いている食事をコントロールしています。

「長生きみそ汁」を毎日飲むだけで、元気が出ている感じです。

時間がある時は、ほっこり堂へランチを食べに来てくださいね。



爺神山とともに

清水には、約70年、三代にわたって大切に作り続けている「爺神」（とかみ）というお饅頭があります。

若いお客さんや、遠くからご来店されたお客さんからは「爺神って、なんですか？」と聞かれることがあります。

爺神というのは、

清水菓子舗の裏にある里山「爺神山」からつけた名前です。

発売当初の70年くらい前はクルマも珍しい時代で、近隣の方だけを相手にする商売だったため地元のみなさんは、爺神山を知っていたので名前の由来は説明する必要がありませんでした。

爺神山は、かつては讃岐富士とも呼ばれた、きれいな山容をしていました。高度成長時代に、碎石で山が削られ悲慘な姿にされてしまいましたが。今でも、見る角度によっては、当時のきれいな山容を偲ぶことができます。これからも清水は、銘菓・爺神を大切に作り続けてまいります。



デコレーションケーキ作りに挑戦

新人スタッフ・戸城は、入店3ヶ月の、まだまだ新人です。背が高く、挙動不審で、表情が豊か過ぎる変な人を見かけたら、それが、戸城です。

そんな戸城が、先日、デコレーションケーキ作りに初挑戦しました。本当は、自分のウェディングケーキをいつか作るつもりなのですが、そんな日は、いつ来るか想像もつかないので、今回は、ご両親の結婚記念日のケーキを作る事にしました。ご両親は、結婚44～45周年と、詳細は不明なようです。先輩スタッフが丁寧に教えて、ご両親のためにせっせと作りました。ただ単にケーキを作るだけなのに、

喜んだり、不安になったり、戸城のオーバーな表情が面白いですね。ただ、ほうれい線が深く刻まれないか、心配です。作ったケーキは、お父さんが取りに来てくれて、大喜びだったので無事Vサイン。

戸城が自分のウェディングケーキを作る日は、もしかしたら、近いかもしれませんな。

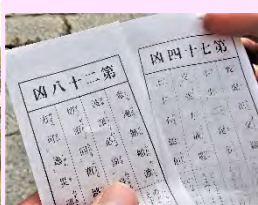


しあわせでありますように

清水の三代目が修行した神戸の洋菓子店の師匠は、「お菓子屋は、お客さんに幸せを届ける仕事だ」というのが口癖でした。そういう教えを受けていたはずなのですが、その教えも薄らいでいました。

初詣では毎年、自分の幸運ばかり祈願していましたが、今年は、いろんな神社やお寺を巡って、お客さんの幸せを真剣に祈願してきました。金毘羅の奥の院まで祈願に行ったスタッフもいたようです。

引いたおみくじは「凶」だったりしますけど、これからもお客さんの幸せのために貢献できるように、精進してまいります。



今月のプレゼントクイズ

今月も抽選で20名様に、
清水菓子舗の商品券500円をプレゼントします。

今月は、丸亀市に関するクイズです。

右と下に、 あ～せ まで、
清水菓子舗の店主がスケッチした
丸亀市内の建物絵が、14枚あります。
その中で「らーめん屋」さんはどれでしょう？

クイズの答えは、同封した商品券の裏に、
ひらがなでお書きください。
商品券をお送りしますので、
住所氏名も忘れずにお書きください。
お買い物の際に販売スタッフにお渡しいただければ
割り引きと同時に、
プレゼントクイズにもご応募いただけます。

締め切りは、3月20日。

当選発表は、発送にかえさせていただきます。



この「お菓子屋だより」は、
当店ポイントカード会員の方で、
高ポイント獲得のお客様1300名様に
お送りしています。

ふざけた顔して、すいません。先代の店主です。
いつもいつも、本当にありがとうございます。
和菓子職人歴70年ですが現役で頑張ってます。
これからも、どうぞよろしくお願いします。

SHIMIZU
CONFECTIONERY

清水菓子舗

香川県三豊市高瀬町新名652-1

【TEL】0875-72-5225

営業時間 9:00～18:30

定休日 木曜日